

東洋システム

# 集卵カウンター 世界市場で販売

## イスラエル企業と合併会社設立へ



安田勝彦社長

### 関連機器の開発も

ファームオートメーション（鶏卵自動生産システム）国内シェアトップの東洋システム（本社各務原市金鳳団地、安田勝彦社長）は十三日までに、イスラエルのアグロロジック社（ヤン・リヒテン社長）との合併会社「アグロシステム」を、十一月中に設立することを明らかにした。新会社は東洋システム本社内に置き、アグロロジック社と共同開発した高精度、低価格の集卵カウンターを各国の採卵養鶏場に販売する。

アグロロジック社は、イスラエルのテルアビブ郊外にあり、一九八〇年設立のベンチャー企業。プロイラ

ー向けに、生産効率を高め、電子制御の鶏舎環境管理機器を製造している。プロイラー生産が盛んな同国内のシェアは約七〇%という。

今回、東洋システムとアグロロジックは採卵農場向けに集卵カウンター「アキ

ユカント」を共同開発。鶏舎で生産される卵の数をも、ほぼ一〇〇%の精度で正確にカウントする機器で、集卵時間を三割削減するといふ。さらに価格も従来製品の半分程度に抑えた。

合併会社「アグロシステム」はこの装置を世界市場に販売する会社で、資本金一千万円。東洋システム側が五五%、アグロロジック側が四五%を出資する。社長には安田社長が就任。開発の基本方針と営業販売については東洋システムが主導権を握る。当面の業務は同社員五人が兼務する。

同装置は米アトランタ（二月）と独ハノーバー（十一月）で開かれる製品見本市に出展するほか、インタ

ーネットを活用して世界市場に売り込んでいく計画。面社の試算では約百億円の潜在需要を見込んでいる。

「面社は合併について二年前に合意。昨年からは装置の試作を進めてきた。将来は集卵カウンターのほかにも関連機器の開発を進め、世界市場でシェアを広げていく方針。」

岐阜新聞

2000. 10. 14